

IEC/TC105 燃料電池の概要

対象機器：家庭用燃料電池、産業用燃料電池、移動体推進用燃料電池、ポータブル燃料電池、マイクロ燃料電池、フローバッテリーシステム、水電解モード燃料電池によるエネルギー貯蔵システム、など

■背景及び課題

- ・R&Dから商用化(普及)への移行段階
- ・世界に先駆け、日本が家庭用燃料電池システムを製品化
- ・市場展開の実績を踏まえた製品評価を規格に取り入れる。

■活動方針

1. 日本技術をIECに反映するため、主要国・規格開発組織幹部に理解してもらうよう活動する。
2. アジア各国にIEC規格の利用を働きかける。
3. IECへの提案は、研究開発成果であるJISを基本とする。JISの規格体系を国際規格の体系に合わせる。
4. 日本人のコンビナ・セクレタリをサポートする。

■成果

1. 定置用燃料電池性能試験法(小形及び産業用)、単セル性能試験法、産業車両用燃料電池安全性及び性能試験方法、マイクロ燃料電池性能試験法及び燃料カートリッジ互換性など、日本提案が規格化された。その結果、日本の燃料電池メーカーが熟知した規格となっており、かつ国際市場展開に有利な状況となっている。
2. フローバッテリーや水電解モードによる蓄エネルギーシステム、燃料電池のLCAなどの国際標準化審議を実施。これらは2020年3月～6月には国際規格として発行される

■今後の予定

1. 日本提案賛同国を増やす。
2. 国際規格対応JISの整備
3. Smart Grid・移動体用途の開発



◆ 燃料電池発電システム
(Panasonic)



◆ 燃料電池フォークリフト
(豊田自動織機)



◆ 燃料電池発電システム
(アイシン精機)